

京都〈ゆうゆうの里〉入居者インタビュー

「新しいことにもチャレンジ！」

心豊かな生活を送っています」

杉本 博様（76歳）・英子様（73歳）



今回は東京都から引越して来られ、入居1年目の杉本様ご夫妻にお話を伺いました。

ここには安心がある

妻が病気になった時に、自分たちの老後が不安になりました。娘はいますが最後の世話にはなりたくないのです、最後までみてもらえる施設への入居を考え始めました。

大きい施設の方が安心できると思います、色々な施設の見学に行きました。最後に京都〈ゆうゆうの里〉に来て、環境の良さと戸建て感覚のテラスタイプがとても気に入りました。実際に体験入居をして、里の暮らしぶりや介護の話を聞き、ここなら安心して暮らせると思い二人で入居を決めました。

初めての挑戦

（ご主人）大浴場やアスレチックジムなどで色んな方に声をかけてもらいます。その方に誘われてオカリナとスポーツ吹き矢を始めました。初めての挑戦で、ちゃんとできるか心配でしたが、皆さん丁寧に教えて下さり、楽しくサークルに参加しています。里に来て新しい世界が広がりました。



オカリナサークルにて

また、里には陶芸室があるので、趣味の陶芸も続けることができ、新しい作品もできました。お気に入りのライトコートには自分たちで坪庭を造りました。和室からも居間からも眺められる庭には日々癒されています。



ライトコートの坪庭にて

みんなと一緒に楽しい

（奥様）病気と付き合いながら、楽しく暮らしています。アスレチックジムは、自分に合ったプログラムで無理なく続けられるのがいいですね。誘って頂いてプールも始めました。ひざの痛みにも効果があるように思い、これから続けたいと思います。以前からお茶のお稽古をしていましたが、

里に来て、月一回宇治のお茶会や八坂神社のお茶会を楽しんでいます。お部屋でも友人を招いてお茶を楽しんでいますよ。

里の行事のお茶摘みや梅干し作りにも参加して、皆さんとおしゃべりしながら楽しんでいます。病気になつて色んなことを諦めていたけれど、こちらに入居して、安心して楽しい生活が送れるようになりました。本当に感謝しています。



「手作り茶論」で梅干し作り

これまでの趣味を続けながら、積極的に新しいことにもチャレンジされている杉本様ご夫妻。今年の4月からは生涯学習の鳳凰大学にお二人で通っておられるとのこと。これからも、心豊かな生活を送られるよう願っております。